

2023

地域とともに
三陸国道事務所 業務概要
Sanriku National Highway



1 三陸国道事務所が進める道路事業

三陸国道事務所管内の三陸沿岸道路・宮古盛岡横断道路



三陸国道事務所 管理区間

路線名	管理区間	延長
三陸沿岸道路	山田南IC～階上IC	139.4km
国道45号	山田町～洋野町	155.1km
三陸国道事務所管内 合計		294.6km※

※単位未満を四捨五入しているため、内訳と合計値が一致しない場合があります。

	三陸沿岸道路	宮古盛岡横断道路
事業中区間	🔴	🟡
一般国道45号	🟦	🟦
開通済区間	🟢	🟡
補助国道	🟩	🟩

令和5年4月1日現在

三陸沿岸道路

国道45号 山田改良

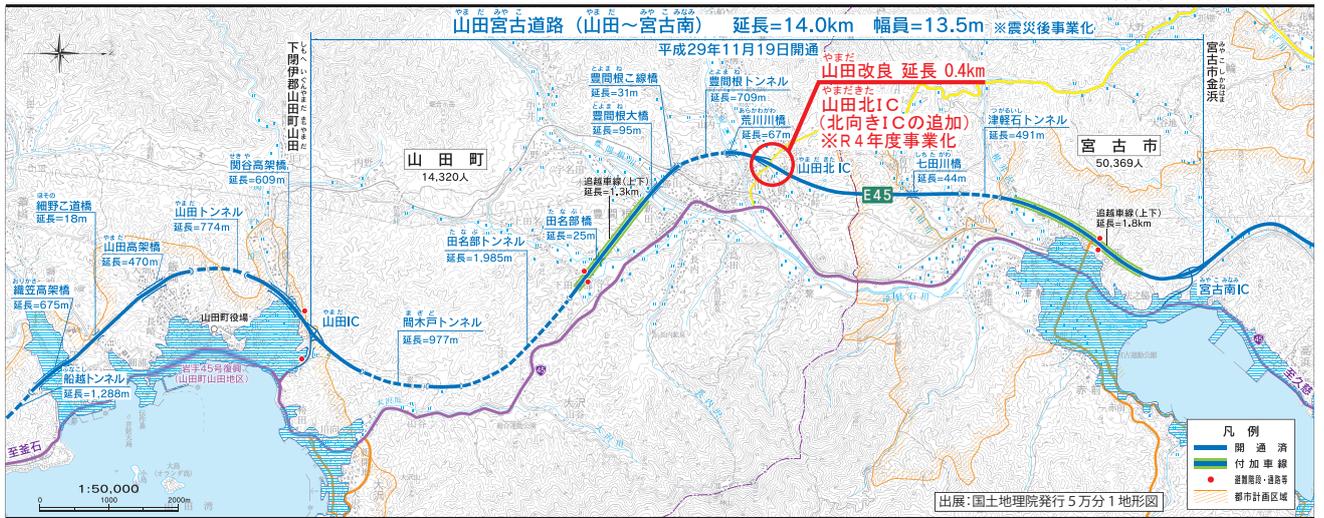
概要

国道45号山田改良は、国道45号の防災上の隘路を回避するため、三陸沿岸道路の山田北ICに、北向きの乗り降りを整備することにより災害時の道路ネットワーク機能の確保を目的とした事業であり、令和4年度から事業着手しています。

令和5年度は、調査設計等を推進します。



釜石方面から山田北ICを望む



三陸沿岸道路(侍浜～階上)

概要

三陸沿岸道路(侍浜～階上)は、八戸・久慈自動車道の一部を構築し、東日本大震災被災地の早期復興を支援し、高規格道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。

この区間は、令和3年3月20日に全線開通しています。

洋野種市ICは、防災拠点への迅速な支援ルートの確保により、津波発生時の備蓄・支援物資供給活動及び災害医療活動を支援するほか、「三陸ジオパーク」や「みちのく潮風トレイル」などの広域周遊観光の支援を目的とした事業(洋野種市IC:南向きICの追加)であり、令和3年度から事業着手しています。

令和5年度は、調査設計、支障移転保障、改良、橋梁工事を推進します。



洋野種市ICを望む



宮古盛岡横断道路

田鎖墓目道路

路線概要

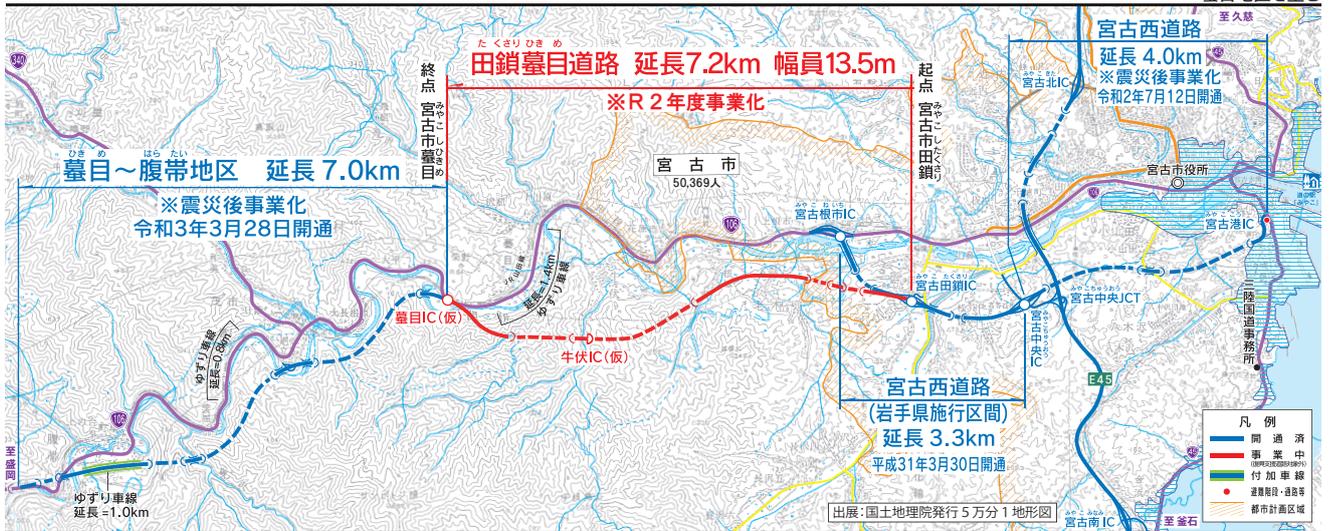
宮古盛岡横断道路「田鎖墓目道路」は、宮古市田鎖から宮古市墓目を結ぶ7.2kmの自動車専用道路です。
 災害時の交通障害や道路寸断による広域迂回および孤立集落発生を解消、救急医療施設への速達性向上、広域周遊観光拡大等の効果が期待されます。
 令和5年度は、調査設計、用地買収等を推進します。

計画諸元

田鎖墓目道路	
起 点	宮古市田鎖
終 点	宮古市墓目
延 長	7.2km
幅 員	2車線 13.5m
構造規格	第1種第3級
設計速度	80km/h



墓目地区を望む



箱石達曾部道路

路線概要

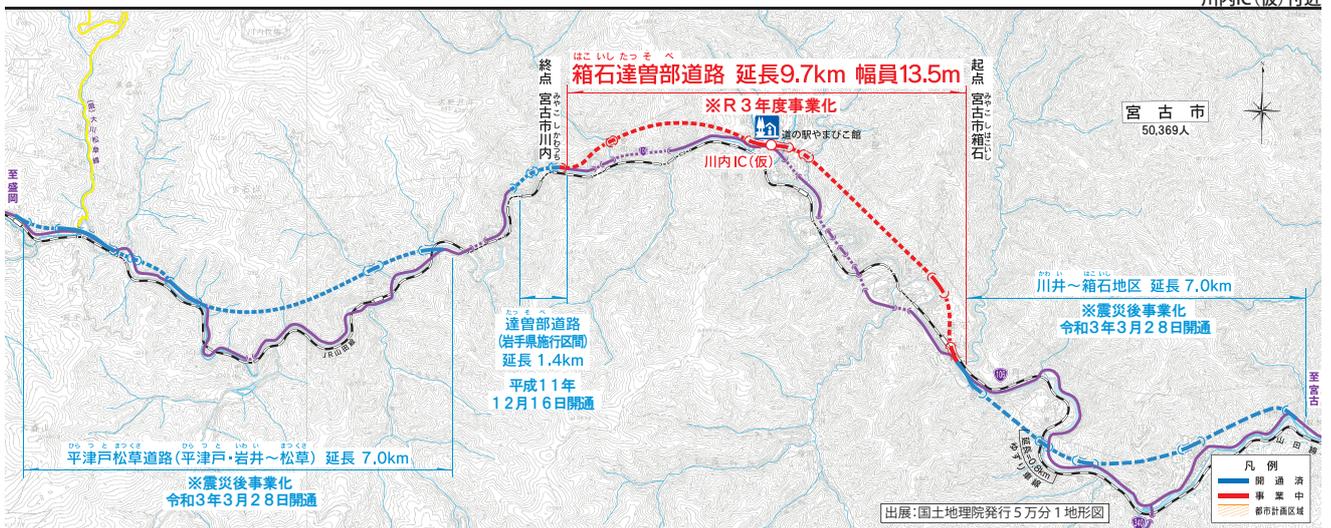
宮古盛岡横断道路「箱石達曾部道路」は、宮古市箱石から宮古市川内を結ぶ9.7kmの自動車専用道路です。
 災害時の交通障害や道路寸断による広域迂回を解消、救急医療施設への速達性向上、広域周遊観光拡大等の効果が期待されます。
 令和5年度は、調査設計等を推進します。

計画諸元

箱石達曾部道路	
起 点	宮古市箱石
終 点	宮古市川内
延 長	9.7km
幅 員	2車線 13.5m
構造規格	第1種第3級
設計速度	80km/h



川内IC(仮)付近



安全で快適な交通のための道づくり

電線共同溝・歩道整備・休憩施設整備

道路を安全・快適に利用していただくため、交通環境の改善や交通事故防止、交通の円滑化に向けた対策事業として、電線共同溝、歩道設置及び休憩施設整備を進めています。



整備中(休憩施設整備)	○	自動車専用道路	—
整備中(歩道整備)	○	一般国道	—
整備中(電線共同溝)	○		

※ 令和5年4月1日現在

電線共同溝

災害時、倒壊した電柱や電線によるライフラインの遮断や道路の通行止めリスクを軽減するため宮古市内の無電柱化を整備し、災害に備えたまちづくりを支援します。

石崎地区(宮古市)※R3年度事業化

令和5年度は本体工事を推進します。



磯鶏地区(宮古市)※H30年度事業化

令和5年度は本体工事を推進します。



神林地区(宮古市)※R3年度事業化

令和5年度は本体工事を推進します。



歩道整備

種市歩道整備(洋野町) ※R3年度事業化

概要

当該箇所は、通学路指定されており、沿道に商業施設等が多くありますが、片側にしか歩道が整備されておらず、歩行者が乱横断するなど、非常に危険な状況となっております。

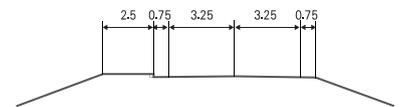
このため本事業は、直近にある信号交差点まで歩道を設置し、通学児童・生徒や沿線住民が安全・安心に通行できる空間の確保を行うものです。

令和5年度は、調査設計、工事を実施します。



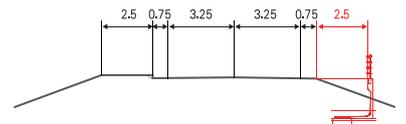
現況

【現況横断面】 (単位:m)



計画

【計画横断面】 (単位:m)



宿戸歩道整備(洋野町) ※R3年度事業化

概要

当該箇所は、通学路指定されていますが、片側にしか歩道が整備されておらず、歩行者が乱横断するなど、非常に危険な状況となっております。

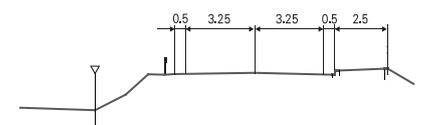
このため本事業は、直近にある信号交差点まで歩道を設置し、通学児童・生徒や沿線住民が安全・安心に通行できる空間の確保を行うものです。

令和5年度は、工事を実施します。



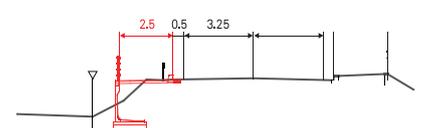
現況

【現況横断面】 (単位:m)



計画

【計画横断面】 (単位:m)



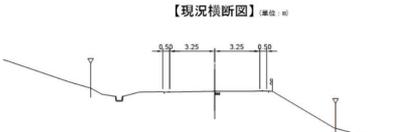
下安家地区歩道整備(野田村)※R4年度事業化

概要

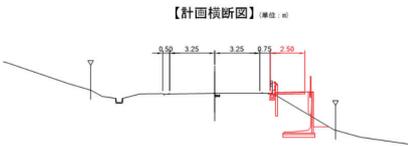
当該箇所は野田村下安家地区と玉川地区を繋ぐ基幹道路ですが、歩道が整備されておらず、非常に危険な状況となっております。このため本事業は、新たに歩道を設置し、高校の下宿生や沿線住民が安全・安心に通行できる空間の確保を行うものです。令和5年度は、調査設計、用地買収、工事を実施します。



現況



計画 (イメージ)

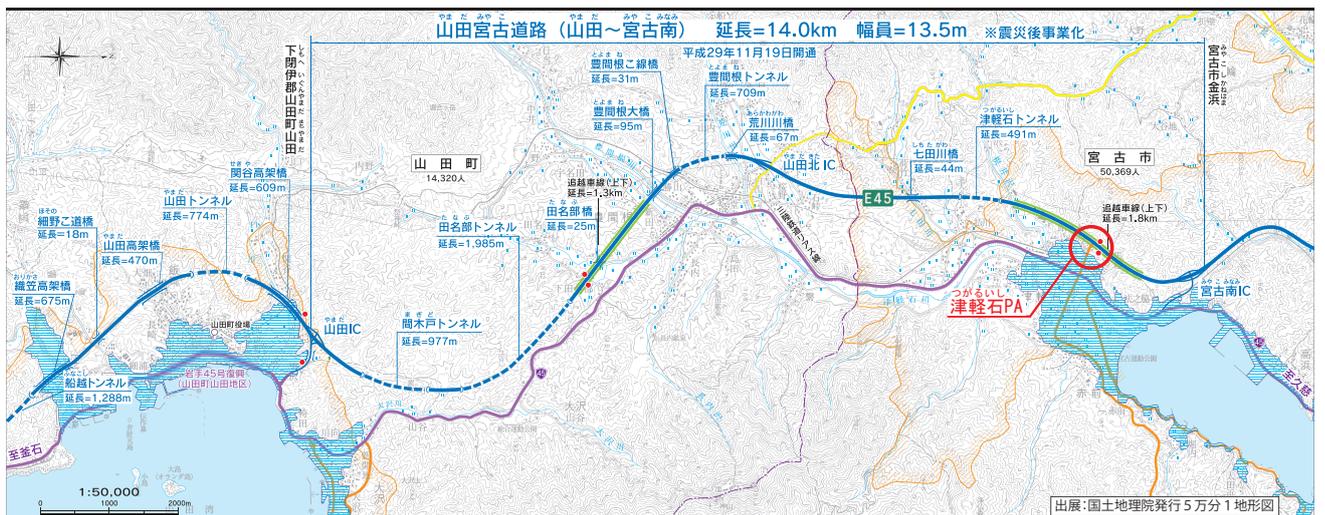


休憩施設整備

休憩施設整備

概要

三陸沿岸道路(山田北IC～宮古南IC)の津軽石パーキングエリア(PA)は簡易パーキングエリアとして供用していますが、三陸沿岸道路の利便性向上のため上下線に休憩施設(トイレ)を整備します。

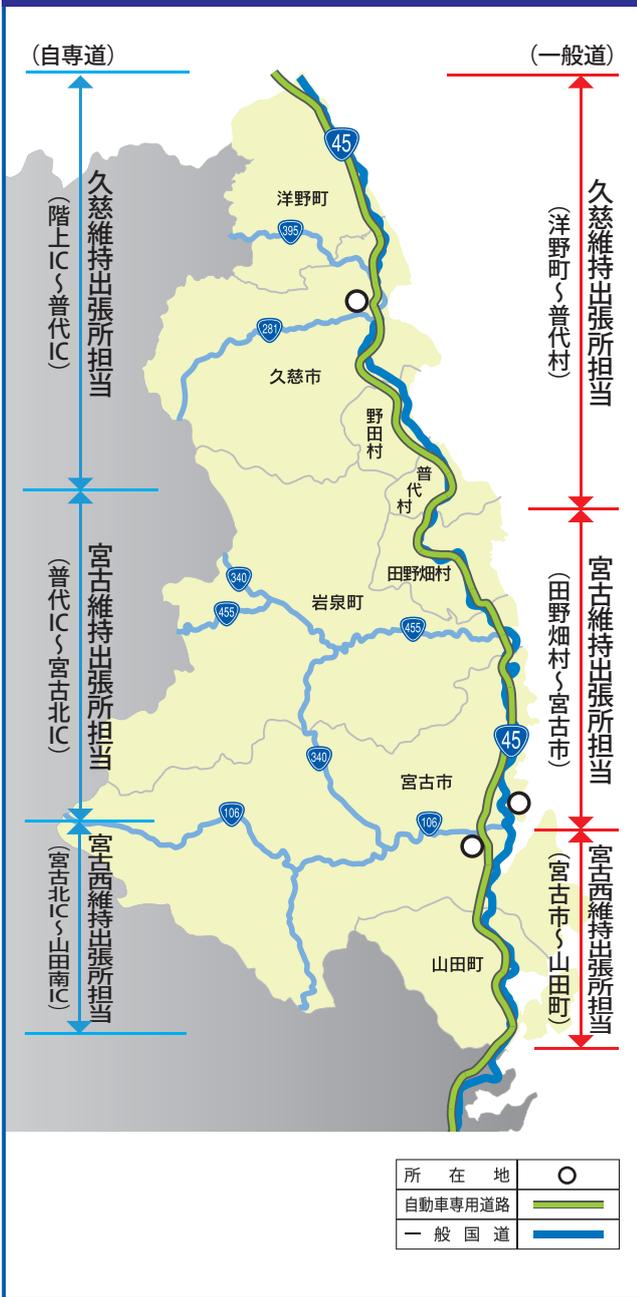


日々の暮らしを支える道づくり

道路管理

道路空間を良好に保ち、道路を快適で安心安全に利用できるよう努めています。三陸国道事務所では、国道45号のうち、一般国道（山田町～洋野町）と三沿道（山田南IC～階上IC）の総延長294.6kmを担当しています。

道路管理担当出張所



点検



補修・維持



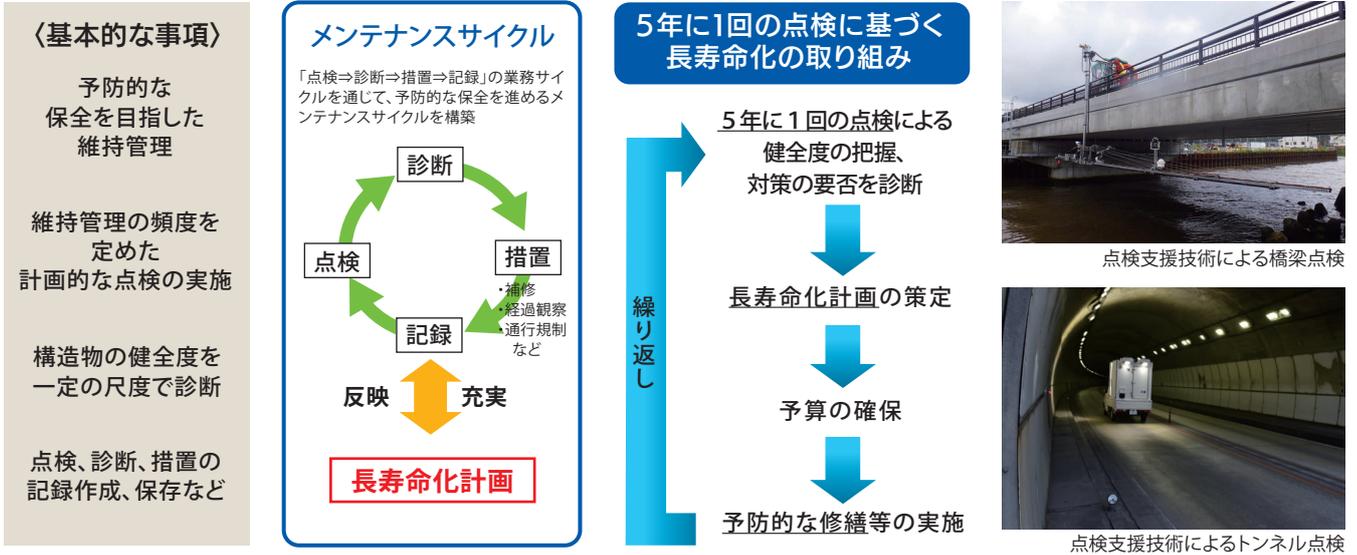
道路管理の延長

管理担当出張所	路線名	一般国道	自動車専用道路	合計
久慈維持出張所	国道45号	63.5km	60.7km	124.2km
宮古維持出張所	国道45号	59.1km	48.6km	107.7km
宮古西維持出張所	国道45号	32.5km	30.1km	62.6km
三陸国道事務所管内 合計		155.1km	139.4km	294.6km※

※各々の数値は、単位未満を四捨五入しているため、内訳と合計値が一致しない場合があります。

道路構造物の老朽化対策

橋梁やトンネルなどの道路構造物は、建設後長期間を経過していることから、定期的な点検による健全度の把握と計画的な補修・補強を実施することで、構造物の長寿命化を推進します。



道路メンテナンス会議

岩手県の道路インフラの予防保全・老朽化対策の体制強化を図るため、県内の高速道路、国道、県道、市町村道の道路管理者からなる「岩手県道路メンテナンス会議」を平成26年に設立しました。令和4年度には「岩手県道路メンテナンス会議」を2回開催した他、道路維持管理業務を担う市町村職員への現地講習会や、広報活動の一環として道路インフラ老朽化対策のポスターを展示しています。



メンテナンス会議



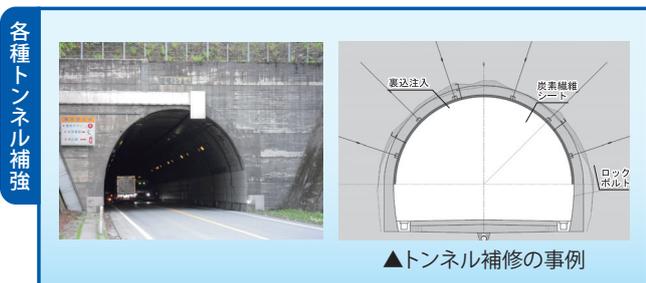
溝橋点検講習会



ポスターの展示

橋梁耐震補強・トンネル補強補修

大規模地震発生時における広域緊急援助隊等の支援や、被災地へ搬送される支援助物資の輸送路確保のために橋梁の耐震補強を行います。また、道路利用者の安心安全な通行を確保するため、定期的な点検を行い、対策が必要と判断した橋梁及びトンネルには、適切な補強・補修を実施します。



2 三陸国道事務所の主な取り組み

災害対策

大規模災害時には、TEC-FORCEやリエゾンを派遣し、災害発生時の迅速な対応や、自治体への支援等を行います。

TEC-FORCE

大規模な自然災害等に際して、被災自治体が行う被災状況の迅速な把握、被害の拡大の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に行います。

令和4年8月に発生した前線に伴う大雨による災害では、甚大な被害が発生した河川・道路の被災状況調査及び仮復旧方法の技術支援を行いました。



▲青森県中泊町での被災状況調査

リエゾン

大規模自然災害が発生または発生する恐れがある場合に、災害に関する情報を収集・提供するため必要に応じ自治体等に対して職員を派遣する制度です。

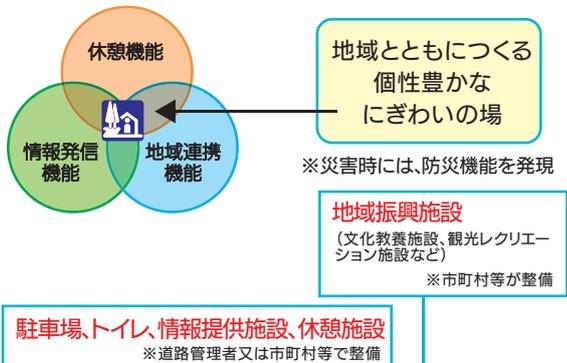
令和元年10月に発生した台風19号による災害では、沿岸市町村に職員を派遣し、被害状況の把握、各支援機関との調整を行いました。



▲宮古市への派遣状況

道の駅

道路交通の円滑な「ながれ」を支えるために、一般道路にも安心して自由に立ち寄り利用できる快適な休息のための区間として「道の駅」を整備しています。近年は農業・観光・福祉・防災・文化など、地域の個性・魅力を活かした様々な取り組みが進められています。



管内の道の駅

※令和5年4月1日現在13箇所
(岩手県内35箇所)



道の駅「いわて北三陸」の整備

道の駅「いわて北三陸」は、久慈市・洋野町・野田村・普代村の4市町村で連携して整備される広域道の駅です。三陸沿岸道路(久慈北IC)からのアクセスが良く、道路利用者が立ち寄りやすい立地にあり、久慈広域市町村の交流拠点として地域の地域振興・活性化も期待されます。



▲新道の駅「いわて北三陸」

道の駅「やまだ」の整備(移転)

道の駅「やまだ」は、移転整備を計画しております。整備予定地は三陸沿岸道路(山田IC)からのアクセスが良く、山田中心部からも近くなります。

利便性の向上とともに観光拠点・情報発信拠点として、また地元の方々に愛される新たな道の駅として期待されます。



▲新道の駅イメージパース

事務所ホームページ・SNSでの情報発信

三陸国道事務所では、ホームページ及びSNSをととして、事務所の取り組みや、防災・通行規制情報を発信しております。

The image shows two screenshots. The top one is the website's homepage, featuring the logo of the Sanriku National Highway Office, navigation tabs for '記者発表', 'さんごニュース', 'お知らせ', and '入札・契約', and a search bar. The bottom screenshot shows the Twitter profile page for '国土交通省三陸国道事務所' with 736 tweets, a photo of the office building, and a QR code linking to the profile.

ボランティア・サポート・プログラム

三陸国道事務所では、地域の皆さんや企業の皆さんが行う歩道除雪や、道路の美化清掃等のボランティアを支援する「ボランティア・サポート・プログラム」を推進しています。



美化清掃の様子



歩道除雪の様子

ボランティア・サポート・プログラムのしくみ

道路管理者	実施団体	協力者
<ul style="list-style-type: none"> 国土交通省 三陸国道事務所・出張所 用具の貸付 サインボードの設置 安全指導 技術指導 	<ul style="list-style-type: none"> 住民グループ等 清掃活動 植樹等の管理 歩道除雪 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村 収集ゴミの回収、処理 実施団体と道路管理者との連絡調整

令和5年度も活動団体を随時募集しています。詳しくは、三陸国道事務所までお問い合わせください。

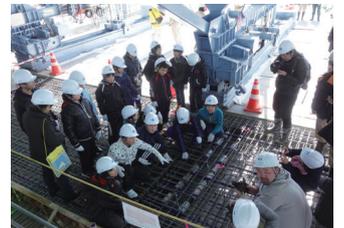
「総合的な学習の時間」への取り組み

三陸国道事務所では、地域の小中学校が行う「総合的な学習の時間」の授業に対し、より実践的な学習ができるよう、工事現場や各種施設の見学会、出張出前講座などを通じた協力を行っています。

詳しくは、三陸国道事務所総務課（地域づくり相談室）までお問い合わせください。



児童による見学会の様子



「3.11伝承ロード」への取り組み

三陸国道事務所では、「3.11伝承ロード」（東日本大震災の事実や記憶、経験や教訓を伝えることで新たにできる教訓・伝承の道を意味する）を構成する震災伝承施設を案内し、伝承のネットワークと輪を広げています。



パネル展の様子



インフラ分野のDX(デジタル・トランスフォーメーション)

インフラ分野のDXとは、社会情勢の激しい変化に対応し、インフラ分野においてもデータとデジタル技術を活用して、非接触・リモート型の働き方への転換と抜本的な生産性や安全性向上を図るもので、三陸国道事務所でも様々な取り組みを行っています。

デジタル人材の育成

研修や、体験学習会に参加し、デジタル人材の育成に取り組んでいます。
例) インフラDXに向けた勉強会
i-Construction(ICT)研修
BIM/CIM操作技術講習会 など



ICT体験学習会の様子

地質調査における遠隔臨場

ボーリング調査の検尺を現地に行かず、遠隔での立ち会いを実施しています。



受注者側(調査現場)



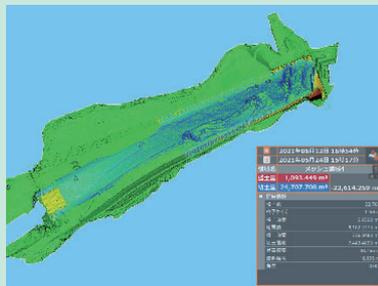
発注者側(事務所)

ICT活用工事の実施

起工測量から出来形管理までの一連に、ICT技術を活用して工事を実施しています。



LSIによる起工測量



3次元設計データ作成



ICT建設機械による施工

3次元データの活用推進

3次元モデルを活用し、関係機関との協議や受発注者間の情報共有を実施しています。



墓目IC全景



▲ JR用地との近接チェック (JR協議)

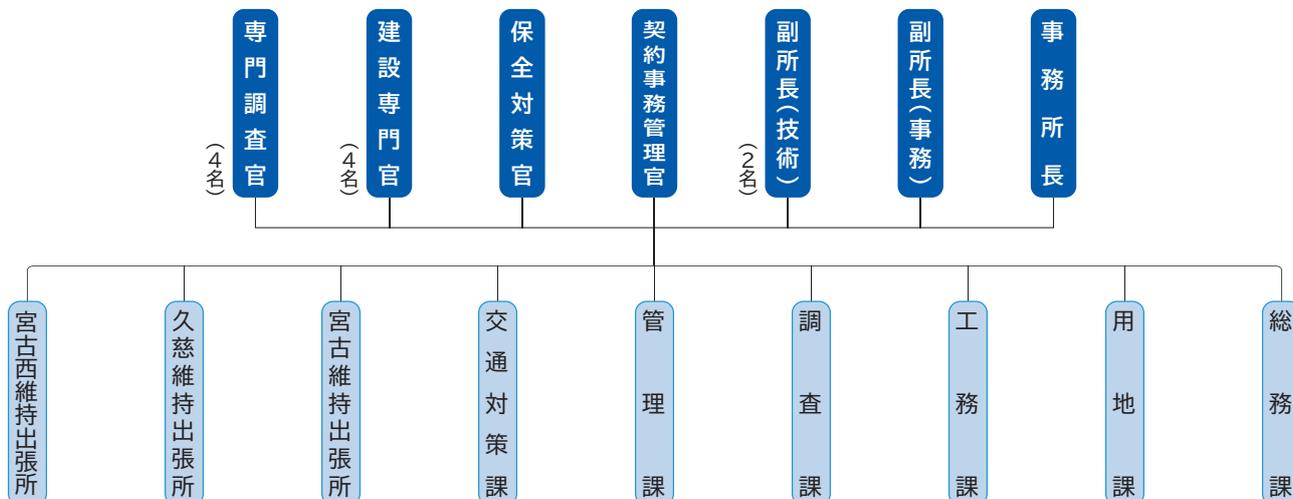
▼ 付替国道106号を堤防兼用道路とした墓目IC形状の共有 (河川協議)



クラウドによる受発注者間の情報共有

3 組織表・業務内容・事業費・所在地

三陸国道事務所組織表



業務内容

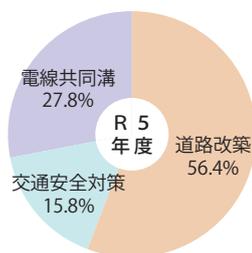
部署名	業務内容
総務課	事務所の窓口業務の他に、文書・庁舎の管理、職員の福利厚生に関する業務を行っています。
総務課 経理分室	事業を行うための工事等の入札・契約事務や予算管理、支払事務及び財産の管理などを行っています。
用地課	三陸沿岸道路及び宮古盛岡横断道路の整備に必要な土地を提供いただくための協議を行っています。
工務課	三陸沿岸道路及び宮古盛岡横断道路の設計・工事などに関する業務などを行っています。
調査課	道路交通の現況調査や三陸沿岸道路及び宮古盛岡横断道路の環境調査、埋蔵文化財調査等に関する業務などを行っています。
調査課 技術審査室	工事の発注に係る技術提案の審査、評価、検査に関する業務や品質確保施策に係る調査・整理に関する業務等を行っています。
管理課	道路の維持・補修、除雪、防災対策、建設機械・設備の管理・運用などの仕事を行っています。道路の占用など、道路に関する各種手続き業務も行っていきます。
交通対策課	歩道設置や交差点改良などの交通安全対策、道の駅の整備、電気設備や光ケーブル等を利用した情報収集、データ配信の管理・運用を行っています。
出張所 (宮古、久慈、宮古西)	安全で快適な交通を確保するために道路のパトロールを行っています。また、道路の維持・補修作業も行っていきます。

令和5年度 事業費の構成と事業費の推移

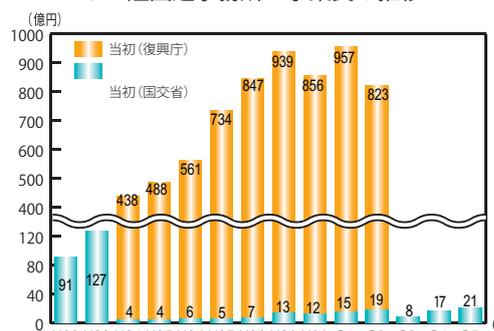
三陸国道事務所の令和5年度当初予算は下表のとおりとなっています。

	令和4年度 当初予算	令和4年度 補正予算	令和5年度 当初予算
道路改築事業	670	440	1200
交通安全対策事業	201	0	337
電線共同溝事業	864	200	593
合計	1,735	640	2130

単位：百万円



▼三陸国道事務所 事業費の推移



※ 事業費は業務取扱費、維持管理費、交通安全事業（II種）を除く。

事務所・出張所 所在地



国土交通省 東北地方整備局
三陸国道事務所

〒027-0029
岩手県宮古市藤の川4番1号
TEL: 0193-62-1711 (代)
FAX: 0193-71-1734
E-mail: thr-sanriku01@mlit.go.jp



久慈維持出張所

〒028-0051
久慈市川崎町16-35
TEL: 0194-53-2790



宮古維持出張所

〒027-0095
宮古市佐原3丁目21-4
TEL: 0193-62-5077



宮古西維持出張所

〒027-0095
宮古市千徳第14地割29-5
TEL: 0193-71-1760



皆さまに愛される道づくり、個性豊かで活力のある、魅力的な地域づくり支援のために

道路の異状を発見したら、緊急通報 #9910 ※24時間受付



携帯電話等で緊急通報
音声ガイダンスが流れます

- 道路の選択
- 1 高速道路 (東日本高速道路株)
 - 2 国道・県道・その他の道路
- 上記から道路の番号を選択してください



緊急以外の道路相談は、道の相談室

● 道路に関する問い合わせ・相談を受け付けます

地域づくり相談室

- 市町村の地域づくりに関する施策へのアドバイス
- 各市町村等地域に向けての国土交通省施策の紹介や情報の提供
- 地域づくりに関する事務所事業の調整、推進及び調査検討

技術開発相談室

- 技術情報の収集と活用、技術提案の受け入れ、県・市町村等への技術支援



東北地方整備局 三陸国道事務所 ☎0193-62-1711

を開設しています。